



第6話 ファントムナイト

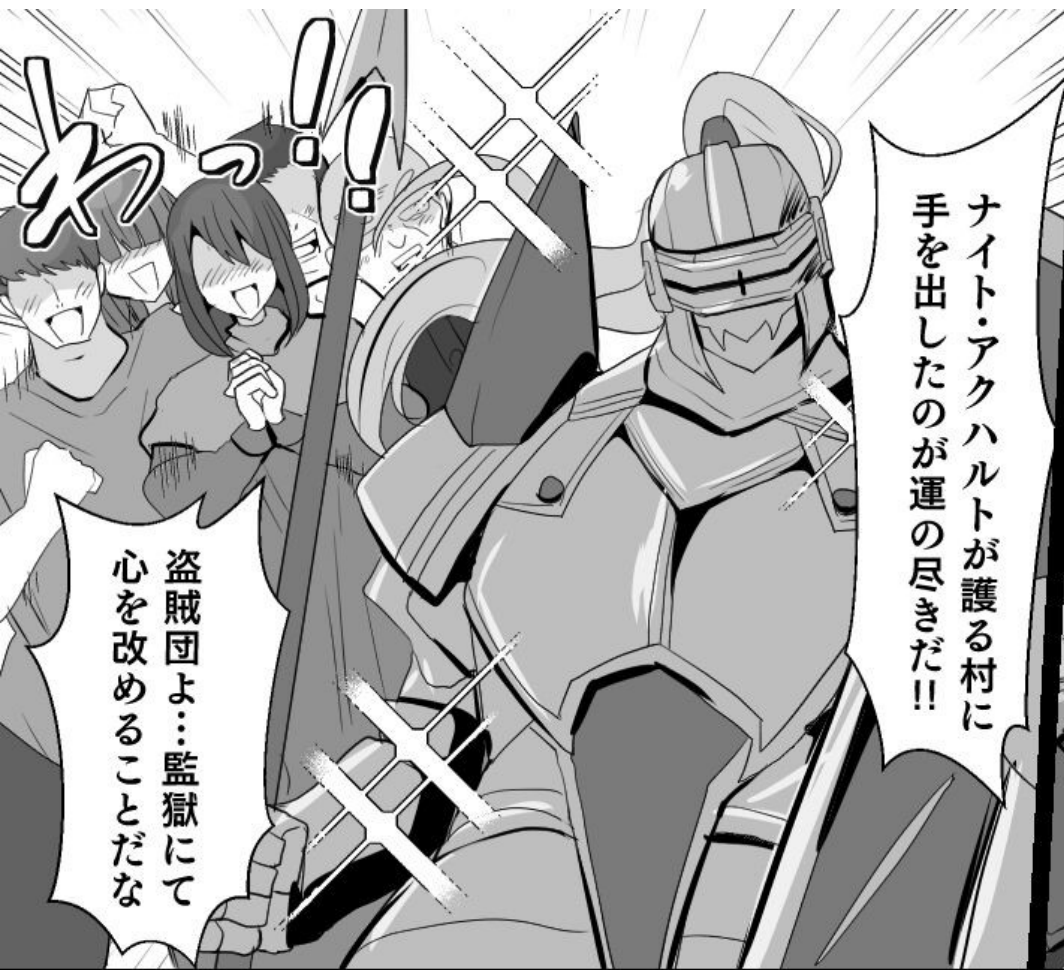
魔転職の館

The house of evil-class change

漫画:あるふれっ鳥

支援サイト限定作品

TS/悪堕ち 24P



盗賊団よ…監獄にて
心を改めることだな

ナイト・アクハルトが護る村に
手を出したのが運の尽きだ!!



こんなツエえ
護衛がいるなんて…



兜を脱ぐわ♡
きっとお顔は
王子様みたいな

なんて凛々しい
騎士様…♡

俺の任務は
ここまでだ



がっかり…

はい
お元気で…

あ……



それではお元気で!

また危機が訪れた時は
必ず駆けつけよう!

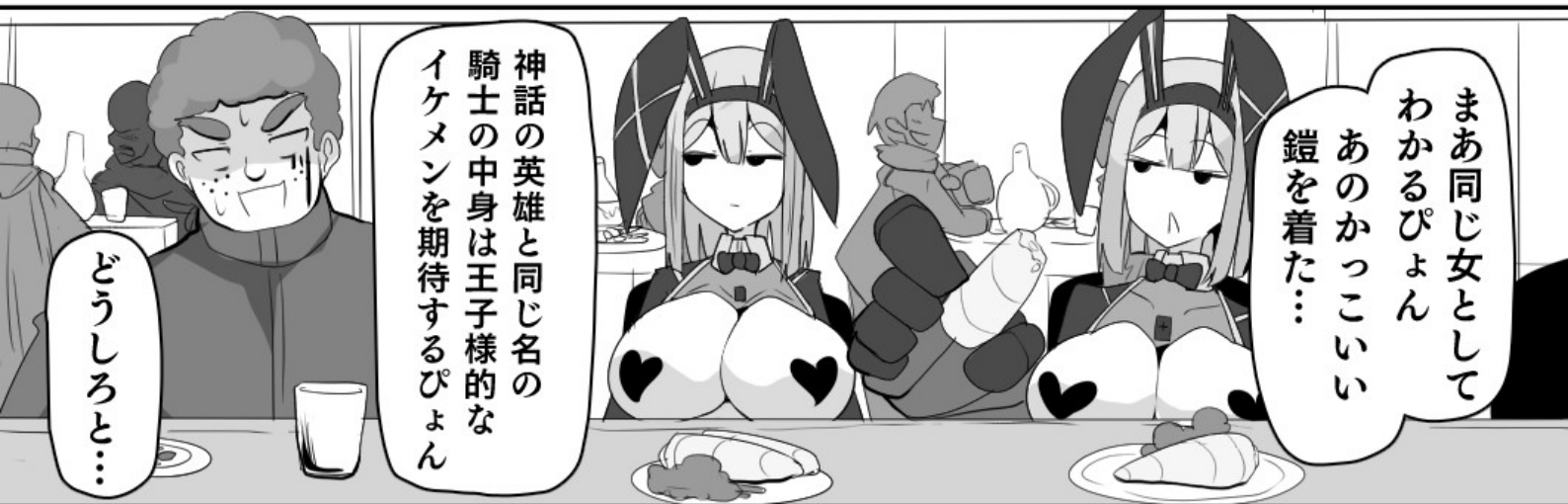


あ…
先輩方

またがっかりされ
たんですか？



あんまりだろ！！



どうしろと…

神話の英雄と同じ名の
騎士の中身は王子様のな
イケメンを期待するぴょん

まあ同じ女として
わかるぴょん
あのかっこいい
鎧を着た…



でも今回の働きで
上級職になる
資格は得られた！

それで沢山活躍すれば
皆からも認められて
夢にも近づくはずだ！

ならサリキュラナに
紹介状を出しますよ
すぐ転職できるぴょん

その転職官様は
冒険者の夢を叶える
素晴らしい方ぴょん

ラビ様達から
お話は
聞きました！

転職の館
サリキュラナ
へようこそ♡

兜を脱いでも
態度を変えてない…

この転職官様は
信頼できそうだ！

よろしければ
あなたの夢を
聞いても？

アクハルト ♂『がっかり騎士』

クラス:アーマーナイト
防御力:B(頑丈)
魅力:C(平凡な見た目)
名声:C(ほぼ無名)
カルマ属性:善
夢:門衛騎士になること

あの七剣将様が
学長の所ですね

門衛騎士は
どんな外敵の
侵入も許さぬ
英雄だとか…

助けを求める人々を護り
騎士として名声を得て…

名高き精鋭のみが入団を許される
魔術学院の門衛騎士になることです

私もそこに行く
用事があるんです♡

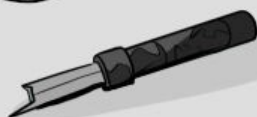
是非あなたの夢を
叶える手伝いを
させてください♡

ん？

魔神様の力と
邪悪な力の
たっぷりこもった
魔素材で♡

人造ガーゴイルの腕(呪物)
人造ガーゴイルは鉄壁の身体で
人間を護る為に造られた存在！
しかし完璧な性能を求め失敗し廃棄され…
その執念がこもった代物です♡

あなたを誰もが
羨む最高の騎士に
してさしあげます♡



戦乙女の錆びた短剣

何百年も昔世界を救ったとされる
銀髪の女騎士が使った武具！
何故かサキュバスの魔力を感じるので
面白い効果が出そうです♡



リビングアーマーの破片

鎧を殻代わりにする魔物です！
鎧と完全に同化すると人間並の
知性を得て、人を襲い始めます♡



身体がっ
邪悪な呪いに
覆われてるっ!?



何ッそんな悪事
許してなるも

グッ
ポッ

ス
キ

ゲ
ウ
ラ
ッ



《魔転職成功》

クラス:アーマーナイト
→【魔職】ファントムナイト

性別♂→♀

防御力B→A-(鉄壁の身体)

魅力C→B+(見惚れる顔立ち)

装備

E:リビングアーマー

これは…
女性の胸!?

おい! 俺を
元に戻すんだ!!

ご安心を♡

背中から『脱ぐ』
ことができますよ♡

今のあなたは
ファントムナイト

『リビングアーマー』を
装備する騎士ですから♡

その『鎧』はあなたの為
生み出された個体♡

前の鎧よりはるかに頑丈で
着たまま生活もできます♡

呪いも代償もありません♡
ぜひ存分にご活躍
なさってください♡

その日から…俺の
生活は一変した





あ…クセでまた兜を
脱いでしまった

これじゃまた
がっかりされ…



ケガはないか？



感謝いたします
騎士様ア!!

えっ

命の恩人です!!
お名前をお聞かせ
ください!!

男の名前を名乗ると
怪しまれる…!!

名乗るほどの
者ではない
これにてッ!!

逃。

ああっ!!
お礼がまだ…!!

なんて高潔な
お方だッ

鎧の力もあり
その後も活躍は
続いた

矢の雨を
ものともせず…

たった一人で
魔族の軍団から

街を護り抜いた
ことさえ…

噂以上の活躍ぶり!!
さすが銀髪の守護騎士
ブリュンヒルト様です!!

え…

名乗らぬ間に俺は
ブリュンヒルトという
名前だと思われていた
魔神を討ち滅ぼした
伝説で知られる
銀髪の女騎士の名だ

オマケに
俺の正体が魔族に
滅ぼされた国の姫
って噂されてる…

俺の故郷めっちゃ平和だし
領主の三男坊だよ…

これじゃ皆を
騙してるようだ

鎧を脱いで皆に
告白しよう…

その行為は
推奨できません

喋った!?

わっ

イヤッ

リビンググアーマー
ですから

私はマスターの為
創られた装備品
危害は加えません

力と名声を手にし
何故そんな
浮かない顔を?

だって俺は
ブリュンヒルト
じゃないからな...

今の活躍と人気は
君の力と容姿のおかげ
つまり君の功績だ

否定。それは
マスターの功績です

あなたは多くの者を護った

結果人々はあなたを認め
伝説の騎士の名で呼んだ
これは『正当な評価』です

ですから
『今の私』を着ても
いずれ同じですよ

え!?
なんで...

『以前の私』も強力で
カッコいい鎧でした

がっかり騎士と呼ばれたのは
英雄的な印象から生まれる
期待に応えられなかったから

人々の『ブリュンヒルト』
という『虚構』への期待に
応えられてないからです

皆に認められる為には
その期待に応えられる
人物にならなければ♡

私が支援いたします

期待に応えられる
『完璧な存在』を
目指しましょう！

あなたは輝く銀髪をなびかせ歩く
…完璧です♡その調子ですよ

噂のブリュンヒルトの
正体は高貴な姫君

上品な女性の所作
を身につけましょう

努力を続けましょう
全ては名声を高め
「夢を叶える為」です

そうだ。俺には
夢があるんだ

クラスレベルアップ！
魅力：B+→A-（尊敬の眼差し）
名声：C→B+（民衆の人気者）

誰からもがっかり
されない完璧な
騎士になる…!!

その為に自分を磨き
相應しい存在になる
間違った話じゃない

そうすれば
門衛騎士にだって
必ずなれる!!

装備も強化が必要
この重鎧を身に
つけてください

いや分厚すぎて
体形に合わな

同化した——!?

はぁ♡

はぁ♡

たん♡

なんだこれっ♡
鎧…溶けて…♡

完全に生身…
感覚まで…♡

強化完了です
重心変化の調整は
私が行います

はぁ♡

はぁ♡

こ…こんな重くて
大きなおっぱいに
何の意味があ…♡

装備強化成功
防御力上昇↑
魅力上昇↑

意味はあった

重い武具を自在に
操れるようになり…



その超人的な姿に人々は
「噂通りだ」と熱狂した

はぁ…♡♡♡

彼女の指示はいつも正しい
彼女は最高の装備だ



さすがマスター
期待に応えられてます

あなたのおかげです
今の私は完璧な—



皆さま—
ごきげんよう♡

あの悔しい思いを
二度としたくない—

その気持ちで『私』は
完璧な存在を目指した

クラスレベルアップ!
魅力A→S(男女問わず魅了状態に)
名声B+→A(民衆の英雄)

いえ。まだ完璧
ではありません

トワント?

え!? 何が
問題ですか…!?
修正します!!

では宿に戻り
私を脱いで
頂けますか?

はい! ただちに!!





久々の外の空気：
湿気が不快です

でも自分にまだ
欠点があると
いうのは



危なかった：
まだ私に問題が
あったなんて

早急に直さねば
皆からがっかり
されてしまいます…



どういう
ことですか!?

スラッ

私——いや俺!!
俺の身体がっ!?



我慢
できな…

おち

おち



それが『欠点』です

この身体は何だ!?
呪いや代償は
ないって――

…？ 私はただ
マスターを完璧な
ブリュンヒルトにする為

内部の『低性能な体』に
改良を施しただけです

でなければ私の性能は
完璧に発揮できません

だけど完全に『私』には
なれていませんね



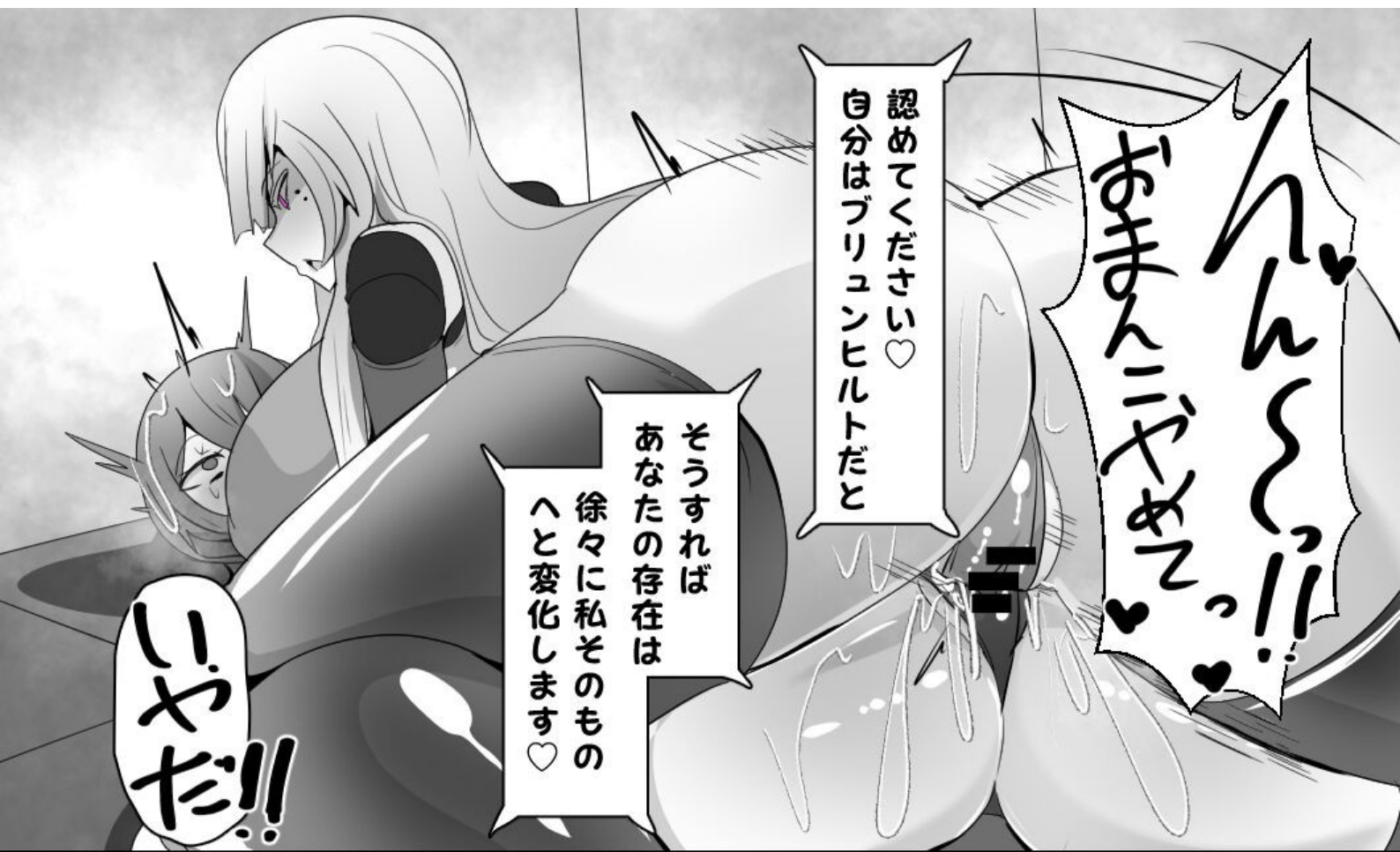
それはあなたが
『ブリュンヒルト』の中に
『アクハルト』がいると
認識しているから

それを解消せねば
マスターは完璧に
なれません

魂そのものも
全て『私』へ
改良しないと…

ふざけるなっ♡
そこまでしたら
俺じゃなくなる!!





認めてください♡
自分はブリュンヒルトだと

そうすれば
あなたの存在は

徐々に私そのもの
へと変化します♡

いやだ!!



主従関係を抹消
以後私の着用を
禁じます

えっあつ♡
俺っ違っ…

私はブリュンヒルトです♡

はぁ♡

何故です?
本当の自分に
戻れますよ?

もど…

戻りたくない!!

完璧になれなければ
マスターは失望され
今の栄光を失いますよ?

はぁ…もういいです
がっかりしました

あんなの私じゃない!!
それなら捨てます!! ♡

私が完璧になる
のを邪魔する物は
いらない!! ♡ ♡

だって本当の私はっ
強くて美しくて人気で
何をしても完璧っ ♡

皆からがっかりされる
低性能な存在なわけ
ないんですよ ♡ ♡



完璧な自分に――♡

ビ

エ
7
♡

人マカウ

はぁ〜♡

はぁ...

クラスレベルアップ！
カルマ属性:善→悪
スキル『人形的思考』を獲得
呪い『完璧への執着』を発現

また一歩
完璧な存在へと
近づきました♡

…これで
私はファントムナイト
ブリュンヒルト♡

アクハルトへの
未練はもう
ありませんか？

あんなアクメから
即この振る舞い…
完璧ですね

—肯定♡
私の唯一の欠点を
修正でき幸福です♡

あの低性能な人格は
私が完璧に至る為には
邪魔でしたから♡

さあマスター♡
私を『中に装備』
なさってください♡

私は以後マスターを
がっかりさせることは
いたしません——♡

その後――

あれが
氷雪の姫騎士様…

『臣下』も皆
美女だそうだ
完璧すぎる…

門衛騎士団が
頭を下げて
招致したってよ

クソっ俺だって
騎士なのに…!!

ヒッ!

世の中には人相の
せいで盗賊と
間違えられる奴も
いるんだぞ…!!

まるで――昔の
私のようにすね

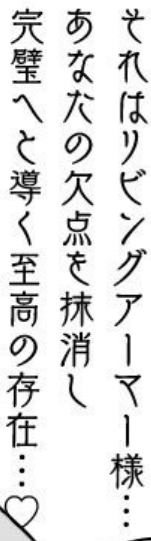
え…
ブリュンヒルト!?

私の元で騎士として
働きませんか――?

えっ…!?
いいのかよ!?

二ツ名【銀髪の守護騎士】
→【氷雪の姫騎士】

魅力S→S+ (視ると崇拜状態に)
名声A→S+ (民の信仰対象)







ご覧ください♡
我が美しき臣下たち
ヴァルキューレさ…

アクハルト

→ブリュンヒルト

♂→♀

二つ名【がっかり騎士】

→【氷雪の騎士姫】

クラス:アーマーナイト

→【魔職】ファントムナイト

カルマ属性:善→悪

防御力S+(金剛の身体)

名声S+(信仰対象)

魅力S+(視ると崇拜状態に)

所属:魔術学院門衛騎士団

夢:滅びた祖国を復活させること
(人々にそう思われているから)

私という存在がより
完璧に見えるでしょう…？